



引 間 豊 作 選 投稿数26句

芝桜秩父の道の細くなり  
下田野 藤原 道男

(評) 羊山公園の芝桜で、時ならぬ車の洪水に、臨時の駐車場と送迎バス、徒歩での参観者の群れに交通整理等、秩父の道も細くなつたとの句。全くその通りで領けませんが、それ以上に季感を示す芝ざくらを、季語として設定はしたものの、季語「芝桜」の説明に陥らず、他のフレーズでそれ以上の演出効果、余すなく詠い上げた手腕に、讃嘆を惜しみません。

空の色うつして畦の犬ふぐり  
梅みのり 職場に急ぐ日々となり  
金沢 青木富佐子  
金崎 設楽 武子

主なき庭に今年も花芽萌ゆ  
人の世をやさしと思ふ藤の花  
三沢 太幡 啓子  
下田野沢 小川 もと

湯の里のそよ風に乗る初音かな  
母と来た思い出の道八重桜  
下田野沢 田端 マサ  
三沢 横田 龍雲

天空をほしいがままに朴咲けり  
満開の木蓮の花空で舞い  
三沢 新井 民子  
皆野 根岸 静子

目をうばう若葉の山の盛りあがり  
遭難の悲報に春の通り雨  
三沢 眞下 杏子

立寄りし父母の墓にも落花かな  
宴済みて喜寿同級会舟下り  
皆野 大沼シヅ子  
皆野 新井 茂

牡丹の崩れんとして豊かなる  
あつ綺麗花のトンネル人心地  
下田野 中田 久恵  
三沢 石森 勝子

餌を求め飛び交う雀木から木へ屋根から枝へ群をなし  
皆野 根岸 静子

朝焼けに庭さき出れば葉牡丹の生きよ生きよと紅葉はゆるる  
上田野沢 四方田利男

嫁ぎし娘の保証人となりて久々に実印使う証明書添えて  
皆野 金子善次郎

肉親と再会果し旧日本兵六十三年の歳月の櫻  
もこもこと新梢萌える連山に鳥運びしか桜浮立つ  
皆野 林 武義

つつがなく歳月めぐり心足る結婚記念日乾杯うれし  
皆野 新井 愛子

朝な朝な若葉の色の移ろへる山峡に住むこれをよしとす  
三沢 新井 叶子

萌え出づる若葉の輝き日々あらた山動くことわが窓に映ゆ  
金崎 山田 雅子

広島の原爆絵図を見て帰路の心凄しく皆寡黙なり  
皆野 笠原三江子

梅桜連翹木蓮雪柳一斉咲きて農を急かせり  
皆野 新井 茂

若葉風背に受ながら眺めれば関東平野五月晴なり  
三沢 横田 龍雲

誰の案親子七人湯沢へと亡き人偲び母の日祝ふ  
皆野 吉岡 ヨシ

人を有すまでの歳月我に在りや花散り果てて残世過ぎゆく  
下田野 中田 久恵

薪の火の路軟かに煮上りし今年の味を確かめつ食ふ  
三沢 新井 民子

派閥なき町にと熱き町長の開講式辞老のわれらに  
三沢 眞下 杏子

投稿数16首

俳句・短歌を募集 (8日必着) 作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して企画課へお寄せください。1人1句、1首に限ります。